

《グループ討議ピックアップ》

① 自治会活動の実情（活動内容や自慢話）

主に防災関係を軸にして活動を考えているとの意見が多かった。

回覧板を止めて、全て掲示板への掲示(掲示方法を工夫)+ICT化とした。

地域団体とボランティアを結ぶマッチングの会や地域活躍塾で人材発掘を行っている。

生徒会と自治会がLINE友だちとなり、高校生がスマホ教室の講師になり、交流を。

会館に行けば役員または経験者がいるので、相談に乗ってもらえる。

犬の散歩の延長で防犯パトロールを行っている。

多世代対応として、回覧板をWEBとアナログの両方で閲覧していただいている。

あいさつができる関係の構築により、知らない人が入って来なくなり良かった。

加入率は低いが、事務を4名のパートに任せる等の工夫により滞りなく回している。

若い女性会長が「いろいろな人と交流したい」という思いから、自ら役目を引き受けたと伺い、明るい気持ちになった。

自治会は市民の日常の細かな相談の役目を担っている。

生活防災、自治会子供会等、楽しさの連鎖を続けることで会員を広げている。

役員は現役世代が大半。子供祭り、餅つき、等子供行事を実施して、子供を集めて

親を引き出す作戦で上手く行っている。高齢者向けの行事も従来通り実施。

会館の維持費対策に経費がかかる。管理人として大学生2名に会館に住んでもらい、

彼らに地域の行事や人達に積極的に関わってもらい若い人ならではの雰囲気作りがとても効果的に作用する活動をしてもらった。(現在は卒業して不在)

回覧板廃止に伴い、掲示板を大型に作り替え、町内10か所に設置。地区長の負担が軽減。大きな転換だったが、苦情はほとんど無い。

SNS、HP活用で若者(若手)を町会入会への申し込みを出来るようにしている。

会長立候補制もまずくない。イベント時などで話し、目星を付けて要請は効果あり。